



横浜市立日野南中学校

令和5年3月7日

# 令和4年度 ひのみだより 3月号



日野南中学校ホームページ

横浜市港南区港南台 4-37-1 TEL045(832)4726

## 【生徒会執行部 新体制スタート】

12月14日(水)の生徒会役員選挙、1月24日(火)の生徒会役員補欠選挙を経て、生徒会執行部の新体制がスタートしました。学校生活をよりよくするために掲げた各自の公約の実現、そして生徒会執行部が一丸となってよりよい学校づくりに邁進してくれることを期待しています。



これまでの先輩方が作ってきた伝統を受け継ぎ、日野南中学校の生徒会目標である「笑顔 全力 思いやり」の達成を目指し、執行部一同頑張ります。

会長 仲原 大翔

会長 仲原 大翔(2年1組)

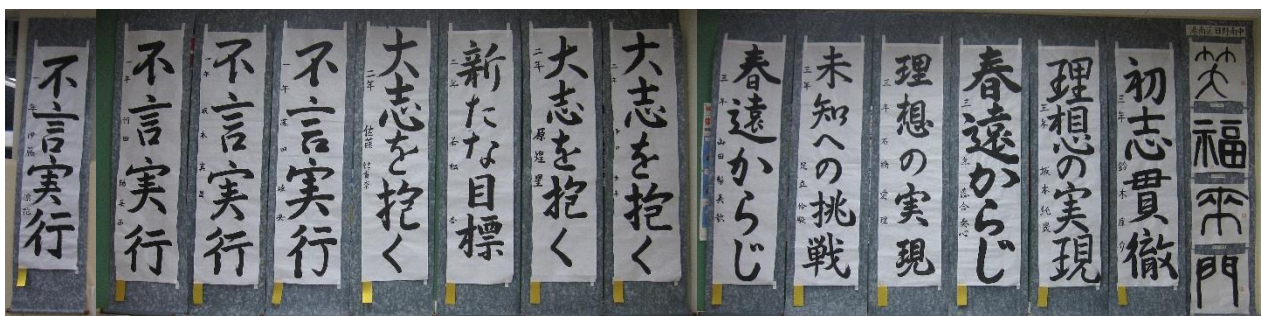
副会長 吉田 希紗妃(2年4組) 古谷 遼(1年4組)

役員 入谷 翔(2年2組) 小鷲 颯介(2年4組)

若林 賢杜(1年2組) 高橋 一生(1年3組) 梅川 凜桜(1年4組)

## 【書初め展 金賞作品】

校内書初め展で特に優れた作品に「金賞」が贈られました。作品は1階職員室前ホールに展示されています。





【3年生】

もうすぐ  
卒業です



卒業遠足(よみうりランド)



## 【令和4年度 第3回 学校運営協議会】

2月3日(金)実施の令和4年度 第3回 学校運営協議会で話し合った内容をご報告いたします。

○令和5年度より、地域学校協働本部を立ち上げ、学校運営協議会と一体となって地域学校協働活動を推進していくことにご承認いただきました。

○令和5年度以降の学校運営について、次の提案をし、ご承諾をいただきました。

総合的な学習の時間、学校行事について、育てたい資質・能力を明らかにし、系統立てて教育活動をする。社会情勢などに鑑み、平和について深く考える平和学習を3年間かけた探究課題とすること。2年生の職場体験を2年生の行事の中心の一つと位置付けること。これらを踏まえ、具体的な学校行事の内容として、1年生では、春に日帰り遠足、冬に2泊3日のスキー教室。2年生では、春に日帰り遠足(平和学習)、秋から冬に職場体験。3年生では、2泊3日の平和学習を中心とした修学旅行を実施すること。

○来年度の新規委員として、学校・地域コーディネーターの荒井早智子様、日野南地区民生・児童委員協議会会長に就任された榊山和子様を推薦し、ご承諾をいただきました。

○「いじめ、不登校、その他生徒指導」をテーマに意見交換を行いました。主な意見は次の通りです。

- ・これまでに、民生委員として保護者からいじめの相談を受けてきた。学校運営協議会の場があるので、保護者から受けてきた相談を共有できるので、非常にありがたい。
- ・学校側も、民生委員などの外部の方に、相談があるかどうか聞きに行くことも大切である。
- ・最近スマホいじめなどがあるようで心配である。学校だけで指導するのは限界があるので、家庭や地域と連携することが大切である。



# 【令和4年度 学校評価報告書】

令和4年度の学校評価にご協力いただき、ありが

とうございました。次のようにご報告させていただくとともに、来年度の学校運営に生かしてまいります。

重点取組分野	令和4年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
授業改善	①育成を目指す資質・能力を明確にした校内授業研や小中一貫教育推進ブロック授業研を実施し、子どもが主体的に学習に取り組む授業を目指す。 ②学期末に生徒による授業評価を実施し、集計結果を基にしながら授業改善を行う。	①校内授業研を3回、小中一貫教育推進ブロック授業研を1回実施し、参加者の意見を基に授業改善を行った。②全ての教科等で学期末に生徒による授業評価を実施し、課題を教科会で共有した。	B
人権教育	①子ども会議のテーマを基に人権について話し合い、「〇〇〇中ブロックスタンダード」を作成し活用する。 ②学校教育全体で道徳教育を充実させ、一人ひとりの個性を認め合える学校づくりを行う。	①子ども会議での話し合いを受け、「〇〇〇中スローガン」を決定し、文化祭で発表し、各クラスで具体的な取組を話し合った。②特別の教科道徳を中心に、特別活動や総合的な学習の時間とも関連させながら、計画的に人権教育に取り組むことができた。	A
健康教育	①誰もが楽しみながら運動に参加できるよう保健体育科の授業改善を図るとともに、体育的行事や集会を生徒が主体になって運営できるようにする。 ②主体的に健康な生活を実践することができるよう、健康・安全についての理解を深めるとともに、計画的に健康教育を実施する。	①体育祭や球技大会の実施方法を生徒が主体となって話し合い、誰もが楽しめる体育的行事となった。②食育、薬物乱用防止教育などについて、教科等が運動した指導を行うことができた。	B
ESDの推進	①教科等の学習内容とSDGs17の目標とのつながりを示し、学ぶことの意味を考える機会の充実を図る。 ②生徒会活動をSDGsの視点で見直し、身近な課題や社会課題の解決に向けた活動になるようにするとともに、家庭・地域に発信する。	①SDGsについての学習会を各学年で行い、理解を深めた。②生徒会活動の意味や意義を生徒自身が考えるようにした。家庭・地域への発信はさらに充実が必要。	B
いじめへの対応	①年3回いじめ防止研修を行い、全職員がいじめに対する態度を高くするとともに、生徒指導部と連携した教育相談や生活アンケートにより細かな変化を見逃さない体制をつくる。②月1回以上いじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。また生徒の心情に寄り添って、積極的にいじめを認知する。	①4月にいじめ防止研修を行うとともに、生活アンケートを年間3回実施しいじめの早期発見に努めた。②毎月第1週にいじめ防止対策委員会を開催し、対応方針を定めるとともに、具体的な対応や支援に努めた。	B
人材育成・組織運営(働き方)	①メンターチームを組織し、ミドルリーダーを中心としながら月1回程度の自主研修を行い、経験の浅い職員の育成を図る。 ②外部指導者を積極的に活用し、研究授業、校内研修を意図的、計画的に実施しながら、教師力の向上を目指す。③働き方改革の視点から、持続可能な部活動について全職員での検討会を行い、生徒の適切な活動時間や職員の働き方について考える。	①6月、9月、1月にミドルリーダーを講師としたメンターチームの研修を実施し、専門性を共有した。②10月に指導主事訪問を活用した校内研究授業を実施した。さらなる指導者の開拓が必要である。③部活動について、生徒が健康で主体的・自発的に活動できる時間や持続可能な在り方について部活動顧問会で検討した。	B
地域学校協働活動	①地域学校協働活動推進員(学校・地域コーディネーター)が運営する地域学校協働本部を中心に、学習ボランティアを募り、放課後の学習支援事業を実施する。 ②学校運営協議会に、生徒会役員などが出席して、自分づくり教育の一環で行う仕事体験実習の目標を語り、学校運営協議会委員とともに目的に合った連携先企業の充実を検討する。	①〇〇〇中学習ボランティアの登録人数は10名以上となり、年明けより学習支援事業を5回行った。②協議会の働きかけにより、〇〇地域ケアプラザでの福祉の仕事体験を実施し、受け入れ先が拡充した。	A
児童生徒指導	①学校のきまりについては現在の社会情勢に沿うものであるか検討するとともに、生徒自らが考え、話し合う機会を設定し、見直しを図る。②年3回の教育相談日を設けたり、日頃から声かけを行ったりするなど、生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導に組織的に取り組む。③生徒指導研修会を複数回実施し、Y-P.A.セサメントを活用して支援検討会を行い、組織的な対応を行う。	①生徒会が中心となり校則について話し合う機会を設定し、見直しをした。②年3回の教育相談における生徒の情報を学年職員で共有するとともに、日頃の声かけを積極的に行い生徒の状況把握に努めた。③生徒指導研修会を3回実施し、職員の指導方針を一致させ、生徒一人ひとりに寄り添った組織的な指導に努めた。	B
特別支援教育	①特別支援委員会の定期開催と内容の充実を図り、支援を要する生徒に対する理解を深める。 ②ユニバーサルデザインに関する研修を行い、職員での理解を深める。	①特別支援委員会を隔月で開催し、支援を要する生徒の理解を全職員で行った。②9月に特別支援学校のセンター的機能を活用し、ユニバーサルデザインに関する研修を行った。	B
ブロック内評価後の気付き	・小中一貫教育推進ブロック授業研では、ブロックで目指す「主体的に課題を解決する力の育成」をテーマに設定し、活発な意見交流をすることができた。 ・ブロック専任会では、子ども会議で話し合った取組についてのその後の情報交換を通して、取組の進捗状況の共有を図った。		
学校関係者評価	・生徒は落ち着いた学校生活を送っており、安心してしている。 ・体育祭等、生徒が自分たちで行事を運営しようとする姿が見られた。 ・地域行事への生徒の参加が増えたことはよい材料である。その中で挨拶が自然と交わされるようになるとよいと考える。積極的に参加できるような環境づくりも必要ではないだろうか。 ・学習ボランティアに参加した。利用する生徒がまだ少ないと感じた。周知方法等を改善したい。		
中期取組目標振り返り	・新たな学校経営中期取組目標を掲げ、重点取組分野の目標の実現に向けて、全職員で第一歩を踏み出した。担当部署を明確にしたことが、職員の参画意識の向上につながった。 ・生徒の地域活動への積極的な参加については、学校と地域が連携して取り組んでいく必要があると考える。学校運営協議会を中心としながら、新たなアイデアを生み出していきたい。 ・本年度、新たに立ち上げた取組を来年度に向けてさらに充実したものにしていきたいと考える。		

# 3月 予定表

		1	2	3	4	昼	5	6	清	残	1年	2年	3年
1	水	9	10	7	8	○	11	-	軽	○	専門委員会		特別時間割
2	木	20	21	学	18	○	19	22	○	○	③3送会		特別時間割③3送会
3	金	授	授	授	授	○	授	-	○	○	特別時間割 評議会 放:保護者進路説明会	特別時間割 評議会	特別時間割 港南公会堂
4	土												
5	日												
6	月	道	2	3	4	○	5	6	○	○			特別時間割 ①②卒業式予行
7	火	13	14	17	-	○	-	-	×	△	昼食後、下校 放課後卒業式準備 関係生徒のみ残留可 部活午後なし		昼食なし 連絡票 備蓄品配布
8	水	卒業式				-	-	-	×	×	自宅学習 14:00まで 部活なし		
9	木	18	19	20	21	○	22	-	軽	×			
10	金	24	25	26	27	○	28	総	○	○			
11	土												
12	日												
13	月	道	2	15	16	○	6	-	○	○			
14	火	13	14	15	16	○	17	-	軽	×			
15	水	7	8	9	10	○	11	-	○	○	AM球技大会 ⑤学活		
16	木	18	19	20	21	○	22	-	×	×		AM球技大会 ⑤学活	
17	金	24	25	26	27	○	28	-	○	○			
18	土												
19	日												
20	月	7	8	9	10	○	11	-	軽	×	球技大会予備日		
21	火												
22	水	18	19	20	21	○	22	-	軽	○		球技大会予備日	
23	木	3	4	掃	-	×	-	-	×	×	①学年集会 ③大掃除 40分帰りの学活を含む	②学年集会 ③大掃除 40分帰りの学活を含む	
24	金	学	行	教	-	×	-	-	×	×	①連絡票配布 ②修了式 離任式 荷物上履き全て持ち帰り帰りの学活下校 教科相談 ~11:30 完全下校 11:45		
25	土												
26	日												
27	月												
28	火												
29	水												
30	木												
31	金												

放課後の2時間と、活動終了時刻の早い方が下校時間になります。 活動終了17:30 完全下校17:45